

# 【外国語活動・外国語科】

## 1 今年度の調査結果の分析と結果に基づく課題

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
調査結果の分析	知識・技能は、5、6年生共に目標値及び全国、区の平均正答率を上回っている。 特に、身近で簡単な語を聞き、その意味を理解する力や、音声で十分に慣れ親しんだ、英語で書かれた語の意味を理解する力が優れている。	思考・判断・表現は、5、6年生共に目標値及び全国、区の平均正答率を上回っている。 特に、短い物語を聞き、話の概要を捉える力や、例文を参考にしながら、英作文を書く力が優れている。	主体的に学習に取り組む態度については、5、6年生共に目標値及び全国、区の平均正答率を上回っている。 英文を完成させたり、英作文を書いたりする力が身に付いている。
課題	多くの項目で区目標値を大きく上回っているが、「聞く」の領域において課題が見られる。 日常生活に関する対話を聞いて推測する問題や、道案内など具体的な状況を聞き取り、理解する問題において、目標値を超えられるように定着を図ることが課題である。		

## 2 授業の具体的な改善策

教科目標	<p><b>新学習指導要領の教科の目標</b></p> <p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けられるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
全体	<p><b>主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを行う目的・場面・状況などが明確な言語活動を設定する。</li> <li>・学習の見通しを立てたり振り返ったりする場を設ける。</li> <li>・外国語の文化を知る機会を設ける。</li> </ul>
<b>学年段階別改善策</b>	
低学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌を歌ったり、ゲームをしたりして、楽しみながら外国語に慣れ親しむことができる活動を取り入れる。</li> <li>・挨拶や数、色、食べ物など身近なものの言い方に親しみ、教師の後に続いて言ったり、音楽に乗せて発音したりする活動を通して、自然と声に出すことができるようにする。</li> </ul>
中学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な国の言葉や習慣について歌やデジタル教材などを活用して知ること、外国の文化について興味をもてるようにする。</li> <li>・友達とコミュニケーションを取る活動につながるよう、ユニットの前半で表現の仕方を繰り返し練習できるようにする。</li> </ul>
高学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本表現や単語リズムにのったり、ジェスチャーをつけたりしながら、繰り返し聞いたり、発音したりすることで、自分の考えや気持ちを伝える活動を取り入れる。</li> <li>・状況や場面を明確に示し、友達と対話をする中で基本的な英語表現に慣れ親しむことができるようにするとともに、発話量を増やし、積極的にコミュニケーションを図れるようにする。</li> <li>・学習内容の難易度に合わせて、日本語と外国語を効果的に使い分け、指導する。</li> </ul>